

静岡県読書ガイドブック

『本とともにだち』- 小学生版 - (五訂版)

活用について

先生方へ



令和3年5月

静岡県教育委員会

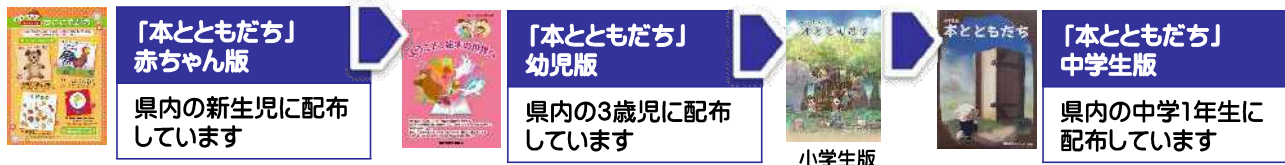
静岡県の子ども読書活動推進について

本との豊かで幸せな出会いを経験することが礎となり、生涯を通じて読書を楽しむ習慣の確立につながります。

静岡県では、県民一人一人が生涯を通じて読書を楽しむ習慣を確立した「読書県しずおか」を構築するため、生まれてから就学する前までに「本に出会い、本を知り」、就学してからは「本に親しみ、本を活かし」、大人になってからは「本と生き、本を伝える」というサイクルを「家庭・地域・学校」と社会全体で進めていくように考えています。



乳児から中学生まで、子どもたちが本に親しむ習慣を身に付けることを目的に、「本とともにだち」の作成・配布・活用を行っています。



静岡県読書ガイドブック「本とともにだち」(小学生版)について

「読書県しずおか」の実現を目指し、「本とともにだち」(小学生版)を作成し、県内すべての小学校1年生に配布しています。

読書ガイドブック「本とともにだち」は、教科や総合的な学習の時間、学級活動で使えるよう、学校図書館の基本的な利用指導の内容をまとめてあります。

「本とともにだち」(小学生版)の構成



P1～10
読書ガイドブック

P11～24
ブックリスト
「よんでね、この本」

P25～26
親子読書のすすめ

P1～10 読書ガイドブック

本となかよし

ただしい本のつかいかたはどれでしょう
○や×を かきこみましょう

本のつかいかた

- ① ひらいたまま もつ ② ひらいたまま ふせる ③ たべながら よむ



- ④ ページをおる ⑤ かばんに いれて もつ ⑥ 本にしおりを はさむ



本のつかい方や学校図書館の利用方法などを、小学1年生向けにわかりやすく説明しています。
ガイドブックに直接書き込むこともできます。
授業や図書館ガイダンスで御活用ください。

【もくじ】

1年生のみなさんへ

学校としょかん つて どんなところ？

本となかよし

本のなかまわけ 知っているとべんりです

そのほかのなかま

本のたからさがし

としょかんでしらべましょう

こうきょうとしょかん

よんでね、この本

●てい学年むけ（おはなしの本）

シリーズ
UD

のついている本はシリーズになっています。ほかの本もよんでみましょう。

のついている本は点字やマルチメディアDAISY図書があります。

くいしんぼうのはなこさん

よんだ本にしるしを
しましょう。



いしいももこ ぶん なかたにちよこ え
福音館書店

はなこさんは、とてもわがままな子牛です。ごちそうばかり食べてむくむく大きくなつたはなこさんは、おひやくしょうにつれられて、山の牧場に行きました。はなこさんは、この後どうなるのでしょうか。

P11～24 よんでね、この本

静岡県における子どもの読書活動推進検討委員会が選んだおすすめの本83冊を紹介しています。長年読み継がれてきた本から、近年出版された良書まで、今の子どもたちに読んでほしい本を選びました。選んだ本は、「低学年向け」「中学年向け」に分け、読みやすいと思われる順に紹介しています。読んだ本のチェックができる欄を設けました。意欲喚起のための手だてとしてください。更に読書意欲のある子どもには、もっと読みたい人向けとしてP23～24までの16冊の本を紹介してください。

保護者の皆様へ

親子読書のすすめ

～読書の素晴らしさを次の世代へと伝えていきましょう～

「親子読書」は子どもと心が通い合う楽しい機会の一つです。親子（家族）のふれあいを通して読書の素晴らしさを次の世代に伝えていく、そんな「親子読書」を、ご家庭でもはじめてみませんか。

小学校低学年くらいまでは・・・

小さな子どもたちに読書の楽しさを伝えるには、「読み聞かせ」がよいと言われています。絵本や物語はもちろん、日本・世界の昔話、科学・工作の本、ことばあそびの本など、様々なジャンルから本を選び、お子様の世界を広げてあげてください。



P25～26 親子読書のすすめ

親と子が一緒に本に親しむ「親子読書」を紹介するページです。

成長段階に応じた選書のアドバイスや親子読書の活動例を掲載しています。

子どもたちが家庭でも本に親しむ習慣が身に付けられるよう、学級懇談会や家庭教育講座などの際に、保護者の皆様に御紹介ください。

静岡県読書ガイドブック「本とともだち」(小学生版)五訂版 活用の手引きについて



もくじの項目ごとに、1～2授業
時間扱いでの展開例を提示しまし
た。

展開例以外の活動例も示しました。各学校、
学級の実態に合わせて、また先生方のアイ
ディアも加えて弾力的に活用してください。

☆小学1年生での活用を想定して作成
しておりますが、内容によって、また学校
の実情によっては、他学年での実施の方
が効果的な場合があります。各学校の実
状に合わせて活用してください。

各学校において、「本とともだち」を活用して
いただけるよう、「活用の手引き」を作成しま
したので、指導の参考にしてください。

P 3 学校としゃかんってどんどころ？(1 授業時間での実施)

- 1 目標
学校図書館に興味をもつとともに、図書館を使うときの約束やマナーを知る。

- 2 展開(教室から学校図書館へ移動しての活動)

発 問	予想される児童の反応	指導上の留意点
この写真のような部屋が学 校の中にあいましたか	・図書館だよ ・本がいっぱいあった ・教室よりも広かった	・P 3 の写真を見せる。 ・生活科での学校たんけん を想起させる。掲示物を 活用する。
図書館はどんどころなの か、図書館に行って調べま しょう	・本がいっぱいある ・この本、読んだことある ・誰がいる ・パソコンがある	・学校図書館へ移動する。 ・時間を短縮する場合は、 図書館で活動を始める。 ・館内を見て回る時間を確 保し、本を自由に見せる とともに本以外のものが あることに気付かせる。
図書館には、本の他にどん なものがあのでしょうか	・テーブルやイスがたくさんある ・パソコンがある ・たなに番号が書いてある ・水道がある ・ポスターが貼ってある	・図書館ならではの機能を 押さえながら板書する。
見つけたものを発表しま しょう	・「〇月〇日まで」と書いてあるのはなんだろう ・カウンターがある	・図書館ならではの機能を 押さえながら板書する。
図書館でお仕事をしている 先生の話を聞きましょう ＜学校司書等の話＞	・図書館の機能 ・図書館のルール ・本の借り方	・学校司書や司書教諭に依 頼し、P 3 を参考に話し てもらう。 ・機能について、児童が見 つけたものと関連付けて 話すことよい。
図書館はどんどころでし たか	・ルールを守ってみんなが 本を読めるところ ・わからないことを調べら れるところ ・読みたい本を借りられる ところ	・本を借りる時間を確保す る。

＜その他の活動例＞

- ・図書館の機能やルールについて、図書委員から1年生に伝える場を設定する。
(委員会紹介の集会活動、朝の活動等で実施)
- ・図書館の機能やルールについて、2年生から1年生に伝える場を設定する。
(生活科での交流活動等で実施)
- ・P 4 「本となかよし」を併せて扱う。

発行 静岡県教育委員会社会教育課

読書県しずおか

検索



活用の手引きは「読書県
しずおか」Bookサイトにも
掲載しております。